

平成26年度 新宿区立津久戸小学校 学校評価 結果

「学校評価のアンケート」の集計結果をお知らせいたします。ご協力、ありがとうございました。

アンケート実施 : 10月上旬(マークシート)
 アンケート集計数 : 257 (回収率92%)

<学習に関して 学校は>

1	自分の課題や目標をもち、学習や生活に取り組みようとする子どもを育てようとしている。
2	やる気をもたせるために、体験活動を取り入れた授業を指導している。
3	授業に、調べ・考え・表現する活動を取り入れている。
4	発表や話し合い、自分の考えを書かせるなどの授業を通して、言語能力の向上に努めている。
5	読書活動に進んで取り組み、子どもの本へ興味・関心や調べる力、読み取る力を高めている。
6	授業中に、できた喜びを味わわせるため、一人一人の様子に応じた、適切な助言や励ましを行っている。
7	ICT機器を活用し、わかりやすい学習活動を実践している。
8	地域の方々や保護者の協力、地域の伝統・文化を取り入れた教育活動を行っている。

<生活に関して 学校は>

9	生活の中で、一人一人の子どもの様子や、子どもの声を聞くように努めている。
10	自分や周りの人々を大切に、進んで人のために行動できる子を育てる指導をしている。
11	異学年による活動や遊びを通じた交流で、子ども同士のかかわりが深まるよう指導をしている。
12	全ての教育活動で、「やるべきこと」「やってはいけないこと」「守らなくてはならないこと」の指導をしている。
13	あいさつや返事、丁寧な言葉遣いができる習慣を身につけるための指導をしている。

<その他 学校は>

14	健康な体づくりのために、給食指導や栽培活動と関連を図った食育活動に進んで取り組んでいる。
15	道徳教育などを通して、心を育てる教育を行っている。
16	校舎をきれいにし、安全で気持ちのよい教育環境を整えている。
17	学校公開・授業参観・ホームページなど、進んで学校の様子や子どもの様子を伝えている。

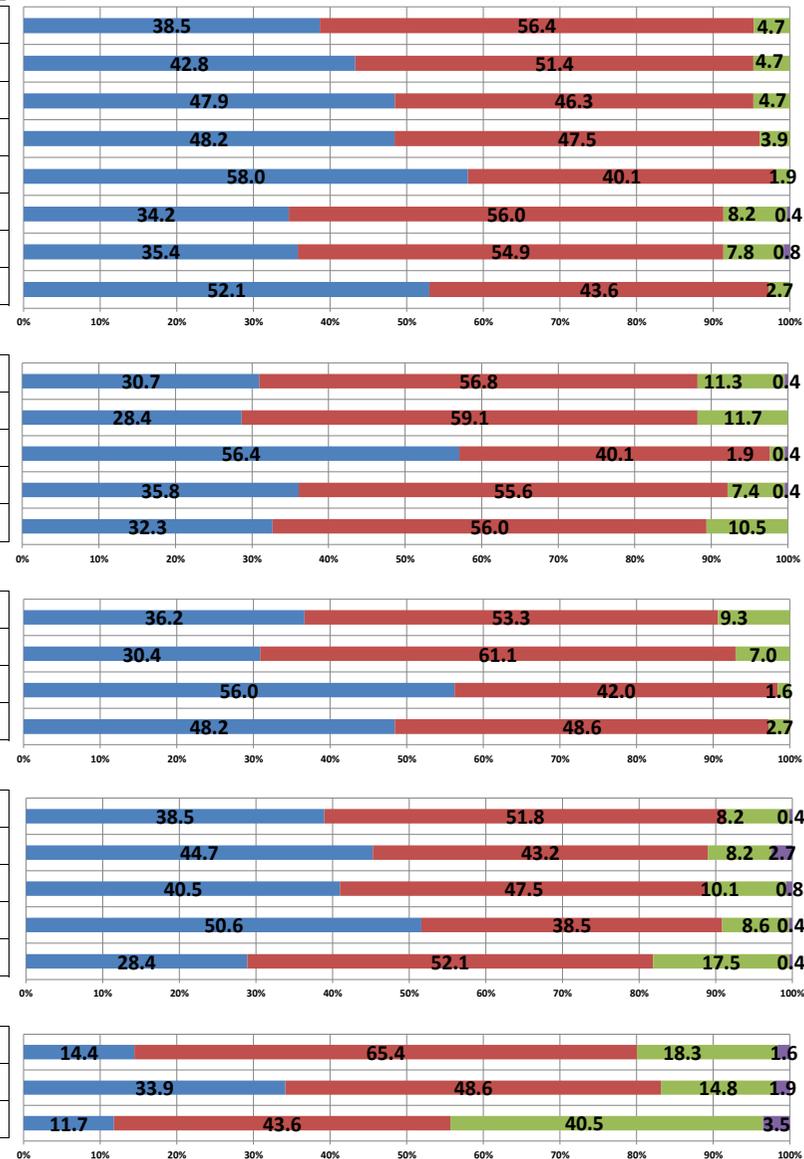
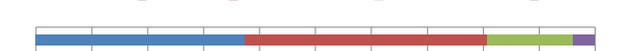
<新宿区共通項目>

18	学校のいじめ等への対応は信頼でき、子どもにいじめの疑いがある時には相談している。(するつもりだ)
19	あなたは、携帯電話やインターネットに関わる適切な利用等についてルールを決め、子どもに伝えている。
20	あなたは、学校のICT(パソコンやプロジェクター)を活用した授業は、効果的だと思う。
21	学校には、地域を生かした活動や伝統的な活動など、他に誇れる活動がある。
22	授業や学校生活で、子どもが地域の人と一緒に活動が増えている。

<ご家庭の様子>

23	普段のあいさつや丁寧な言葉遣い、お手伝いなどのしつけが家庭できている。
24	家庭では宿題などの家庭学習を進んで行う習慣が身に付いている。
25	学校の教育活動や、教育ボランティアなど積極的に参加している。

凡例



【考察】 「学校評価のアンケート」の集計結果について (2015.1)

学習の項目に関して

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

1～8であり、授業の進め方、取り組み等については、概ね良好との評価をいただきました。昨年度よりもその数値は向上しています。特に、5の「読書活動」に関しては、98%以上の肯定的評価があり、より肯定的な「あてはまる」という評価の伸びが大きいです。昨年度後期の読書月間から充実した様々な活動や取り組みが、より一層理解され、著しく向上しました。

8の「地域の方々や保護者の協力、伝統・文化を取り入れた教育活動」については、「あてはまる」という評価が増え、昨年度も評価されていましたが、地域の方々や保護者方の協力による活動や阿波踊りなどの取り組みがより浸透してきたと思われます。

・しかし、「あてはまる」という評価だけを見ると、

2の「体験活動」、3の「調べ・考え表現する活動」が、昨年度より下がり、特に、6の「適切な助言や励まし」については、十分とは感じられない保護者の割合が他の項目と比べて多くありました。

7の「ICT機器の活用」についても、肯定的な評価は90%以上に伸びてはいますが、昨年度とくらべると、「あてはまる」という評価が減少し、「ややあてはまる」の方に流れています。社会や家庭生活でもICT機器が効果的に使われる場面が増えている中で、学校現場での状況は物足りなく感じつつあるのかも知れません。学校での効果的なICT機器活用の場面を考え、授業改善への努力をしてみたいと思います。

生活の項目に関して

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると90%以上になる項目は、

11・12であり、11の「異学年交流」については、「あてはまる」と「だいたいあてはまる」が97%を超え、昨年度も充実した活動が認められていましたが、さらに向上し、今後も継続が期待されています。自由記述からも、きょうだい学級を通じて他学年の児童とかかわれるのはいい機会だと思うとの好評のご意見をいただいております。

・しかし、「あてはまる」が減り、「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」が増えている項目は、

12の「規範意識」であり、一定の満足感は得られていますが、十分ではでないことがうかがえます。

・「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせると10%以上になる項目は、

9・10・13でした。

9の「一人一人の子どもの様子や子どもの声を聞くことに努める」は、学習の項目6の「適切な助言や励まし」とも関連しています。昨年度よりは肯定的な評価は増えているものの、不十分と感じています。自由記述からは、やる気のある子、ない子の差がかなりあると思うので、個がうもれないようにしていただきたいとのご意見がありました。個々に応じた適切な助言や励まし、目配りや気遣いが授業や生活において教職員に求められていることが分かります。全教職員でより一層意識を強化していくことが必要です。

10の「進んで人のために行動できる子」については、肯定的な評価が一番低い結果となりました。

13の「あいさつや返事、丁寧な言葉遣いができる習慣」についても、継続して指導に力を入れてまいります。自由記述からも、もっと児童の元気な声やあいさつが聞きたいとのご意見をいただいています。生活指導全般にわたって、人権意識を高め、自発的に前向きに取り組む児童の育成を目指して、さらなる努力が必要と考えます。

その他の項目について

・「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせると98%以上になる項目は、

16であり、特に「校舎をきれいにし、安全で気持ちのよい教育環境」は、昨年度より大きく伸びており、「あてはまる」の評価が、6割近くもありました。今年度は開校110周年の記念の年でもあり、校舎内外の隅々まで職員全体で、季節ごとの掲示等にも気を配り、環境整備に努力してまいりました。この環境整備は、職員だけではなく、年間を通して携わってくださっている地域のボランティアの方々等の協力や支援も大きいです。これからも、計画的に様々な工夫をし、安全で気持ちのよい教育環境整備に一層努力してまいります。

14、15については、90%以上の肯定的な評価があるものの「あてはまる」が減り、「だいたいあてはまる」が増えています。一定の満足感はあるものの高い満足感ではないことがうかがえます。

新宿区共通項目について

・19の「携帯電話やインターネットに関わる適切な利用」については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」が減っている項目です。携帯（スマートフォン）を持つ子どもが増加している今、家庭内でのルール作りが徐々に形成されている状況があるのかもしれませんが。子どもは適切な利用ができないこともあり、フィルタリングや明確なルールで使い方を約束させないと危険です。学校では毎年、セーフティ教室で5年生に一斉指導を実施していますが、児童だけでなく保護者会でも随時取り上げ、今後もより一層啓発していきたいと思えます。

・21の「地域を生かした活動や伝統的な活動など他に誇れる活動」については、「だいたいあてはまる」が2%減り、「あまりあてはまらない」が2%増えています。「8」の結果と相反するようですが、活動はしていますが、まだ、誇りとするまでに至っていないことがうかがわれます。自由記述には地域の方々（神楽坂のお店、熊谷組）との交流や活動が高学年になってもっと多くあってほしいというご意見がありました。地域を生かした活動の取り組み内容が6年間を通してさらに充実できるよう計画していきます。

ご家庭の様子について

・23の「あいさつや丁寧な言葉遣い、お手伝いなどのしつけ」や24の「家庭学習の習慣」については、「だいたいあてはまる」が増えてきています。子供のやる気を育て、規範意識や宿題等の家庭学習習慣を身に付けていくためには、家庭・地域と学校の連携が不可欠です。

・25の「ボランティアなどの教育活動への参加」についても同様で、「あてはまらない」が大きく減っています。阿波踊り、もちつき大会等の様々な地域・PTA活動や開校110周年の学校行事等へのご協力、ご支援等、家庭でも意識して取り組んでいただいているものにご協力に感謝いたします。

「学校評価アンケート」の結果を昨年度の内容と照らしあわせて考察いたしました。次年度の計画に向けて、よりよい教育活動に努力していきます。

ご協力ありがとうございました。